

授業科目	英検演習Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21101J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-1			
担当教員	ブラウン馬本 鈴子							
授業概要	<p>近い将来、あるいは、講義期間中に、英検(実用英語技能検定試験)準1級の合格を目指し、その出題形式・傾向に合わせた問題演習を豊富に行う。また毎回のミニテストで語彙力強化を図る。</p> <p>受講希望者は、英検2級合格とTOEIC400以上のスコア表のコピーを最初の授業に持参すること。</p> <p>* 全て遠隔授業で実施</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.読む: 社会性のある高い分野の文章を理解することができる。</p> <p>2.聞く: 社会性の高い内容を理解することができる。</p> <p>3.話す: 社会性の高い話題について、説明したり、自分の意見を述べたりすることができる。</p> <p>4.書く: 日常生活の話題や社会性のある話題についてまとまりのある文章を書くことができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50		10				60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10			30	40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
英検準1級に合格することができる。				今後も独学で続ける英検1級の試験勉強につなげ、近い将来に合格することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業オリエンテーション			説明		授業前に、Google Classroomを確認しておく		90

	英検準1級合格に向けての心構え、学習の仕方、今後の授業の進め方についての説明を行う。最後に合格に向けての各自の学習計画を考える。		また、英検における自分の目標や現在の実力をある程度説明できるように考えておく 受講資格を証明できるものを準備しておく	
2	2016年度第1回問題を解答する。タイムマネジメントの練習を行う。	演習・質疑応答	レポートの計画を立てる	90
3	単語確認に引き続き、2016年度第1回問題(1(1)-(5), 2(1題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
4	単語確認に引き続き、2016年度第1回問題(1(6)-(10), 2(2題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
5	単語確認に引き続き、2016年度第1回問題(1(11)-(15), 3(1題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
6	単語確認に引き続き、2016年度第1回問題(1(16)-(20), 3(2題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
7	単語確認に引き続き、2016年度第1回問題(1(21)-(25), 3(3題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
8	2014年度第2回問題を解答する。 タイムマネジメントの練習を行う。	演習・質疑応答	レポートをする	90
9	単語確認に引き続き、2014年度第2回問題(1(1)-(5), 2(1題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
10	単語確認に引き続き、2014年度第2回問題(1(6)-(10), 2(2題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
11	単語確認に引き続き、2014年度第2回問題(1(11)-(15), 3(1題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える レポートをする	90
12	単語確認に引き続き、2014年度第2回問題(1(16)-(20), 3(2題目))を解説する。	講義・演習 *レポート回収予定	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える	90
13	単語確認に引き続き、2014年度第2回問題(1(21)-(25), 3(3題目))を解説する。	講義・演習	本日解答した部分を復習し、 英単語を覚える	90
14	まとめ・Google Classroomにて筆記のまとめと単語の口頭試問を受験する 今までの講義の復習を行い、理解度を確認する 今後の学習計画を立てる	統括・まとめ・授業アンケート	予習として今までの復習をする	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英検 2 級に合格しており、かつ、TOEIC400 以上取っていること。 必ず第 1 回目の授業に上の試験結果のコピーを提示すること。試験結果がない学生の受講は許可しない。			
テキスト	①『でる順パス単英検準 1 級』 旺文社 ②英検の問題は事前にプリントを配布します。Google Classroom の指示に従ってください。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	以下の本はレポートにも使う。図書館のブラウン馬本コーナーにそれぞれ5冊ずつしかないなので、購入するか学期の早めにレポートに取り組むことをお勧めする。購入する場合は最新のバージョンを購入すること。 2018-2019 年対応短期完成英検準 1 級 3 回過去問集 (旺文社英検書) by 旺文社 2018 年度版英検準 1 級過去 6 回全問題集 (旺文社英検書) by 旺文社 2018 年度版英検準 1 級過去 6 回全問題集 CD (旺文社英検書) by 旺文社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	とにかく内容・宿題共にハードな授業となりますので、受講を希望する学生は、強い意志を持って勉強を続けてください。			
達成度評価に関するコメント	試験 50 点・・・単語(30 点分)は口頭試問に答え、筆記(20 点分)は Google classroom で提出する。実施の仕方は第 1 回目の授業で説明する。 レポート 20 点・・・下記(レポートについて)の指示に従う。 その他 30 点・・・授業時における提出物・関心・意欲・態度で評価する、なお、1 回の欠席で 5 点減点、2 回の遅刻で 5 点減点する。 英検受験と単語テストについて： 講義期間中に学外の英検準 1 級を実際に受験するかどうかは、各自の判断に任せ、評点には影響しません。単語テストの範囲は、みんなで話し合っ決めてほしいと思いますが、目安として、『でる順パス単英検準 1 級』が約半分終わるくらいの進捗で進みます。残りは、今後の自主勉強に使ってください。 レポートについて： レポート(20 点分)は、以下の 1、2 から一つ選択してください。提出の時期(第 12 回目を予定)や方法は、授業中に発表します。 1(ネット型) : https://www.eiken.or.jp/eiken/ 上記の公式英検ホームページにアクセスし、「英ナビ! スタディ・ギア」のマイページに登録して、定期的に取り組んでください。勉強したことがわかるページをスクリーンショットで保存し、プリントアウトして提出してください。			

	<p>2(図書館借用または個人購入型):英検準1級の過去問を2回分時間を計って解答し、解説を読んでメモなどをとってください。どの過去問を2回分選ぶかは、個人に任せます。ただし、過去に勉強したのではなく、今回新たに解答すること。勉強したことがわかるノートかレポート用紙を提出してください。</p> <p>履修選択にあたって:</p> <p>英検2級までとは、レベルも合格率も全く違いかなり厳しい内容となりますので、受講資格不適合であったり、真剣な気持ちで受講できない人は、履修登録しないで下さい。</p>
--	---